

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.16

2015.3

有意義な乳がん自己検診！ キャラバン隊は今日も行く



乳がんは、早期に発見できれば必ずしも怖いがんではありません。そのためにはマンモグラフィ＋視触診の「乳がん検診」が欠かせないことはこの乳がん高度検診・治療センターNEW-す1月号(No. 14)でも強調した通りです。ただ、検診プラス日ごろからの「自己検診」や乳がんについての知識の習得があれば万全の備えと言えるでしょう。

乳がんは体表臓器にできるがんですから、ある程度の大きさになると自分で気づくがんなのです。これはかなり進行しないと症状の現れない内臓のがんなどとの大きな相違点です。

自己検診といっても別段難しいことはありません。その方法については、待合室にあるビデオでの解説や受付のパンフレットを参考にしてください。日ごろから自分の乳房やわきの下をチェックする習慣を身につけ、しこりなど何か異常をみつけたらすぐ専門医の診察をうけましょう。また、しこりだけでなく乳房皮膚のへこみや乳頭の変化(へこみやただれ)にも注意してください。特殊な乳がんでは皮膚のむくみや発赤で発症するものもあることを覚えておきましょう。乳頭から血液が混じった液が出るのが危険サインのこともあります。

乳がんに関する知識の不足から、乳がんで亡くなる方や苦しむ方を少しでも減らしたい…そのような願いから、当院では看護師が中心になって乳がん自己検診の出張出前講座である「キャラバン隊」を2007年から始めました。

キャラバン隊は各種グループ、子育てサークル、などのご要望に応じて各地へ出向き、乳がんについてのミニレクチャーや、乳房モデルを使ってのしこりを見つける演習などを指導しています。

キャラバン隊のような地域活動は全国的にも珍しく、南大阪地区における乳がん死の減少という成果につながることを目指した啓発活動に、乳がん高度検診・治療センターの職員は一丸となって取り組んでいます。



《乳房モデルを使って自己検診の指導 - キャラバン隊 -》

詳細は乳がん高度検診・治療センターにお問い合わせください。



KAZUKA

市立貝塚病院

TEL : 072-422-5865

